



































チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念、経営目標を明文化し、朝礼、会議等で社員全員に周知を行い、社内に掲示して共有している。 社員は経営理念の実現のための経営方針を理解し実施している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・経営方針として法令遵守を明記し、社内外に示し、会社全体を適切に指揮・管理するための仕組(マネジメントシステム)を構築し、この中に法令順守に関する規程を作成し運用・管理を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則にて、不正競争行為の禁止を含む行動規範を明文化し、入社時教育にて周知・徹底を行っている。 ・組織としては適切に指揮・管理するための仕組(マネジメントシステム)を構築し、定期的に内部監査・遵守評価を実施している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境管理責任者を任命し、企業活動が社会環境に及ぼす影響について評価、対応している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社内教育を通して、営業秘密等を含む知的財産保護教育を実施している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報取扱規程を作成し、運用・管理している。 ・個人情報に係る書類は施錠された保管庫にて保存している。 ・個人情報取扱担当者を決定し、年1回の内部監査を実施している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客からの品質・納期遵守率評価に加え、定期訪問(1回/2ヶ月～半期)によるヒアリングにより、顧客・最終消費者のニーズと期待(要求事項)と順守義務となるものを明確にし、この内容について毎月の経営会議にて定期的に見直しを行っている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則に規定し、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・定期的な工程パトロール、環境整備、内部監査にて設備保全、周辺環境整備、ヒヤリハットの確認・改善活動を実施している。			3						8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用条件において同一労働同一賃金の原則に沿って業務、賃金を決定し対応している。					5.5				8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・従業員の残業時間、業務状況を把握し、残業時間の抑制、有給休暇の取得推進を実施し、家庭と仕事の両立ができる環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・会社全体として、不足している資格の把握、従業員個々の力量評価を実施し、計画的に資格の取得、能力開発、教育訓練を実施し、記録する体制を構築している。資格取得費用・能力開発の為の外部教育費用などの経費補助を実施している。				4	5.5				8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・定期的な個人面談による状況把握、ストレス解消や人間関係構築を目的とした懇親会(自由参加・個人負担0)の実施している。			3						8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる条件、および職場環境において、差別しない体制、運営を徹底している。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・一部可能な部署については、テレワーク、時差出勤を行っている。 ・顧客との打ち合わせ、経営会議についてWEB会議を導入している。			3						8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・顧客ごとに違う受発注・納品システムに対して、一元管理できる弊社独自の販管システムを構築し、業務の効率化を行っている。 ・各種申請手続きの電子申請化を推進している。									8	9.1		11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4					8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・有害化学物質を把握し、SDS(安全データシート)を用いて適切な管理および処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートによりエネルギー使用量を把握し、毎月の電力使用量を管理し、電力監視装置によるピーク電力管理を実施し削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートにより、温室効果ガス排出量を把握している。 ・エアコンの定期点検による、こまめなフィルター清掃や扇風機による空気循環を行い、人が常時いる場所と、いない場所で目安となる室内温度を設定し、エアコンの稼働が最適となるよう管理することで、温室効果ガス削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・製造で使用する材料・副資材はRoHS指令に準拠したものを使用している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・シュレッダー用紙や段ボール等のリサイクル可能なごみは、リサイクル業者に引き取ってもらい再生利用に取り組んでいる。 ・コピー用紙の空き箱は書類等を保管できるよう再使用している。 ・製品輸送に使う木製パレットの再利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・トイレや洗面所等に節水に関する掲示物を掲示し、従業員に対して無駄のない水資源の利用を促している。 ・よく使用する蛇口に節水アダプタを設置して、節水を実施している。 ・夏場の暑さ対策に使用する打ち水用の水は貯水池を活用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・製造で使用する材料・副資材はROHs指令に準拠したものを使用している。 ・コピー用紙については森林管理認証を取得した製品を使用している。 ・年に1回の作業環境測定を専門業者ににて実施し、環境管理の状態は適切となっている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得し、製品の安全性や品質を確保する仕組みを構築している。 ・毎月の品質会議にてレビューを実施し、継続的改善活動に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工場内での、作業のしやすさ、快適さを追求し、工場内の手順書やルールなどはイラストなどを使い誰もが分かりやすい工夫を行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・製品輸送に使用する木製パレットの材料、トランス製造に使用するボビン、梱包材について、県内企業の優先的利用を促進し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・蓄電、電気自動車、太陽光発電システム等再生可能エネルギー、石油資源の削減につながる製品を展開している顧客に対して、より効率が高い製品の開発・展開を行い、積極的に拡販を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・工場同敷地内空き地での地域住民によるグランドゴルフの開催への協力をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・従業員にハザードマップを周知している。 ・防災用品の備蓄を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップの受け入れを行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内高等学校・専門学校等との情報交換会へ参加している。 ・中途採用活動において、UIターン歓迎の記載を行い、WEB面接の導入、入社関連費用の補助、社宅の準備・家賃補助を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17